

(5) 財団法人 鳥取県国際交流財団経営状況報告書

一 法人の概要

- 1 名 称 財団法人 鳥取県国際交流財団
- 2 目 的 本県における国際交流推進の基盤づくりと国際交流活動の支援を行い、県民・民間団体・行政が一体となって全県的な国際交流活動を推進することにより、国際性豊かな県民の育成と地域の活性化を図るとともに、世界に開かれ、世界に貢献する鳥取県づくりに寄与することを目的とする。
- 3 設立許可年月日 平成2年11月1日
- 4 設立登記年月日 平成2年11月2日
- 5 基 本 財 産 出えん金 630,465,717円
鳥取県出えん金 500,320,000円
関係市町村出えん金 100,000,000円
民間団体出えん金 30,145,717円
- 6 役 員 理 事 16人 監 事 2人
理 事 長 永 瀬 正 治 (鳥取県日韓親善協会連合会会長)
副理事長 藤 井 喜 臣 (鳥取県副知事)
常務理事 岩 本 恭 昌
理 事 長 井 勇喜夫 (株式会社山陰合同銀行代表取締役専務)
" 森 本 捷 昭 (株式会社鳥取銀行専務執行役員)
" 鷺 見 邦 弘 (鳥取県信用金庫協会会長)
" 神 鳥 高 世 (社団法人鳥取県医師会常任理事)
" 西 原 昌 彦 (社会福祉法人鳥取県厚生事業団理事長)
" 若 松 昇 (日本放送協会鳥取放送局長)
" 若 良 二 (国立大学法人鳥取大学国際交流センター一長)
" 岡 村 能里子 (鳥取県日仏友好協会事務局長)
" 渡 邊 眞 子 (ドイツを語る会事務局長)
" 山 口 とも子 (有識者)

理事 高 増 華 (リコー鳥取技術開発株式会社社員)

〃 アベ 山田 マリア ルイサ

(国立大学法人鳥取大学非常勤講師)

〃 志 直 瑞 穂 (青年海外協力隊鳥取県OV会会員)

監事 藤 本 英 興 (鳥取信用金庫理事長)

〃 松 田 道 昭 (有識者)

7 職 員 13人 (うち県派遣職員 1人、県職員と併任 4人)

8 事 務 所 本 所 鳥取市湖山町西四丁目110番地5

倉吉事務所 倉吉市東巖城町2番地

米子事務所 米子市末広町294番地

二 平成17年度事業実施状況

【一般会計】

県民の国際理解を深め、また、国際交流の推進に資するため、次の事業を実施した。

1 鳥取県国際交流財団運営事業

鳥取空港国際会館内の国際交流センター、中部総合事務所別館内の倉吉事務所及び米子コンベンションセンター内の米子事務所の運営を行った。また、外国人コーディネーターの配置により、業務の充実を図った。

2 情報収集・提供事業

ホームページの運営（日本語・英語・中国語版）、メールマガジン（日本語・英語・中国語版）や機関紙「とっとり国際通信」の発行を通じて、県民及び在住外国人への情報提供を行った。また、図書や視聴覚資料、海外新聞や雑誌を購入し、来館者の閲覧や貸出に供した。

3 交流活動支援事業

民間交流団体等が実施する一般住民を対象とした国際交流・協力事業に対して、協賛事業として助成・支援を行った。また、ボランティア活動を促進・支援するため「通訳ボランティア養成講座」・「ホームステイ受入講座」を開催した。

4 国際化推進事業

地域の国際化を推進するため、民間交流団体や在住外国人との連携による「くらし国際交流フェスティバル」、小学生と保護者を対象にした「親子国際理解教室」などを開催した。

5 海外移住・海外技術協力事業

県費留学生・海外技術研修員等の受入、海外県人会への助成を行った。

6 在住外国人支援事業

留学生を対象にした「オリエンテーション」や私費留学生のための奨学金支給制度の運営のほか、国際交流に関心のある県民や在住外国人が気軽に参加できる「国際交流の夕べ」、日本語学習支援のための「日本語クラスの運営」やボランティアのための「日本語教育講座」、通訳・翻訳・日本語教育・ホームステイなどのボランティア登録制度の運営、在留資格相談窓口の運営を行った。

【山陰・夢みなと博覧会記念基金特別会計】

山陰・夢みなと博覧会記念基金により、県民参加型の国際交流事業への助成（7件）、「とっとり国際塾」、バーモント州との交流事業を実施した。

【収益事業特別会計】

米子コンベンションセンター内のパスポートセンターを利用する県民の利便を図るため、米子事務所において収入印紙及び県収入証紙の販売を行った。

財団法人 鳥取県国際交流財団
収 支 計 算 書

(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)

(一般会計)

	科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
		円	円	円	
収 入	I 基本財産運用収入	9,589,000	9,606,998	△ 17,998	
	1 基本財産利息収入	9,589,000	9,606,998	△ 17,998	
	II 補助金等収入	74,633,000	70,664,117	3,968,883	
	1 県補助金収入	44,817,000	44,416,832	400,168	
	2 県受託事業収入	29,666,000	26,097,285	3,568,715	
	3 その他補助金等収入	150,000	150,000	0	
	III 会費収入	320,000	216,000	104,000	
	1 賛助会員会費収入	320,000	216,000	104,000	
	IV 特定預金取崩収入	1,696,000	1,695,750	250	
	V 雑収入	10,000	12,681	△ 2,681	
VI 基本財産収入	1,000,000	743,000	257,000		
VII 事業収入	0	73,710	△ 73,710		
1 ワールドアラカルト事業収入	0	4,300	△ 4,300		
2 フェスティバル事業収入	0	23,000	△ 23,000		
3 親子国際理解教室事業収入	0	15,500	△ 15,500		
4 国際交流の夕べ事業収入	0	30,910	△ 30,910		
	当期収入合計(A)	87,248,000	83,012,256	4,235,744	
	前期繰越収支差額	2,344,000	2,343,213	787	
	収入合計(B)	89,592,000	85,355,469	4,236,531	

科 目		予算額	決算額	差 異	備 考
		円	円	円	
支 出	I 管理費	5,270,000	4,956,798	313,202	
	1 職員給与費	748,000	895,927	0	その他管理費よ り 147,927円
		147,927			
	2 その他管理費	4,522,000	4,060,871	313,202	職員給与費へ 147,927円
		△ 147,927			
	II 事業費	80,501,000	74,414,108	6,086,892	
	1 国際交流財団運営事業 費	41,994,000	41,015,286	978,714	
	(1) 職員給与費	30,602,000	30,602,000	0	
	(2) センター運営費	11,392,000	10,413,286	978,714	
	2 情報収集・提供事業費	4,969,000	3,941,879	1,027,121	
	3 交流活動支援事業費	4,321,000	3,735,272	585,728	
	4 国際化推進事業費	1,816,000	1,402,804	413,196	
	5 海外移住・海外技術協 力事業費	16,396,000	14,508,771	1,887,229	
	6 在住外国人支援事業費	11,005,000	9,810,096	1,194,904	
III 特定預金支出	2,821,000	2,820,330	670		
1 退職給与引当預金支出	1,202,000	1,201,330	670		
2 財源調整積立預金支出	1,619,000	1,619,000	0		
IV 基本財産積立預金支出	1,000,000	743,000	257,000		
当期支出合計(C)		89,592,000	82,934,236	6,657,764	
当期収支差額(A) - (C)		△ 2,344,000	78,020	△ 2,422,020	
次期繰越収支差額(B) - (C)		0	2,421,233	△ 2,421,233	

財団法人 鳥取県国際交流財団
貸借対照表

(平成18年3月31日現在)

(一般会計)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
I 流動資産	7,409,611	I 負債	9,781,918
1 現金預金	7,409,611	1 流動負債	4,988,378
(1) 普通預金	7,306,841	(1) 未払金	4,803,724
(2) 未収金	102,770	(2) 預り金	174,654
		(3) 前受会費	10,000
II 固定資産	666,347,516	2 固定負債	4,793,540
1 基本財産	630,465,717	(1) 退職給与引当金	4,793,540
(1) 基本財産定期預金	285,717		
(2) 基本財産投資有価証券	630,180,000	II 正味財産	663,975,209
2 その他の固定資産	35,881,799	(うち基本金)	(630,465,717)
(1) 退職給与引当預金	4,793,540	(当期正味財産増加額)	(864,595)
(2) 財源調整積立預金	27,415,035		
(3) 電話加入権	224,952		
(4) 車輛運搬具	41,200		
(5) 敷金	336,000		
(6) 什器備品	3,071,072		
合 計	673,757,127	合 計	673,757,127

財団法人 鳥取県国際交流財団
収 支 計 算 書

(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)

(山陰・夢みなと博覧会記念基金特別会計)

	科 目	予算額	決算額	差 異	備 考	
収 入		円	円	円		
	I	基金運用収入	11,408,000	12,216,876	△ 808,876	
	1	基金利息収入	11,408,000	12,216,876	△ 808,876	
	II	貸付金償還収入	26,000,000	0	26,000,000	
	1	貸付金償還収入	26,000,000	0	26,000,000	
	III	雑収入	1,000	459	541	
	1	受取利息	1,000	459	541	
	当期収入合計(A)		37,409,000	12,217,335	25,191,665	
	前期繰越収支差額		28,544,000	28,543,980	20	
	収入合計(B)		65,953,000	40,761,315	25,191,685	

財団法人 鳥取県国際交流財団
貸借対照表

(平成18年3月31日現在)

(山陰・夢みなと博覧会記念基金特別会計)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
I 流動資産	23,276,440	I 負債	2,800
1 現金預金	23,276,440	(1) 預り金	2,800
(1) 普通預金	23,276,440		
II 固定資産	936,295,050	II 正味財産	959,568,690
1 その他固定資産	936,295,050	(当期正味財産減少額)	(△ 5,270,340)
(1) 山陰・夢みなと博覧会 記念基金積立定期預金	74,000,000		
(2) 山陰・夢みなと博覧会 記念基金投資有価証券	652,000,000		
(3) 長期貸付金	210,000,000		
(4) 什器備品	295,050		
合 計	959,571,490	合 計	959,571,490

財団法人 鳥取県国際交流財団
収 支 計 算 書

(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)

(収益事業特別会計)

	科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
収 入		円	円	円	
	I 事業収入	68,188,000	59,652,043	8,535,957	
	1 印紙等売りさばき収入	66,962,000	58,527,100	8,434,900	
	2 印紙等売りさばき手数料収入	1,226,000	1,124,943	101,057	
	II 雑収入	2,000	17	1,983	
	1 受取利息	2,000	17	1,983	
	当期収入合計(A)	68,190,000	59,652,060	8,537,940	
	前期繰越収支差額	275,000	274,344	656	
	収入合計(B)	68,465,000	59,926,404	8,538,596	

財団法人 鳥取県国際交流財団
貸借対照表

(平成18年3月31日現在)

(収益事業特別会計)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
I 流動資産	1,021,546	I 負債	147,000
1 現金預金	894,221	(1) 前受金	147,000
(1) 現金	618,000		
(2) 普通預金	276,221	II 正味財産	874,546
2 未収金	59,825	(当期正味財産減少額)	(△ 213,898)
3 棚卸資産	67,500		
II 固定資産	0		
合 計	1,021,546	合 計	1,021,546

三 平成18年度事業計画

【一般会計】

1 管理運営関係

- (1) 全県的な国際化推進のため、鳥取事務所（鳥取県国際交流センター）、倉吉事務所及び米子事務所を運営する。
- (2) 在住外国人の母国語による生活相談などのニーズに応じるため、英語・中国語圏の国際交流コーディネーターを配置する。

2 情報収集・提供事業

(1) ホームページの運営とメールマガジンの配信

財団の情報を迅速に提供、公開し、また地域における国際交流のための情報交換や、外国人が生活していく上で必要な生活情報を盛り込んだホームページ（日本語・英語・中国語版）を運営する。併せて、国際交流イベントなどの情報を速報性をもって読者に提供するためのメールマガジン（日本語・英語・中国語版）を配信する。また国際交流センター内において情報検索のためのパソコン（インターネット）を利用者に無料開放する。

(2) 機関紙の発行（年6回）

財団の活動状況や、地域の国際交流事業等の情報を提供する機関紙「とっとり国際通信」を隔月刊で発行する。

(3) 図書・資料の収集

国際交流に関する一般図書や日本語教材、外国語の新聞・雑誌等を整備し、利用者の貸し出しに供する。

3 交流活動支援事業

(1) 民間国際交流・協力事業促進事業

民間国際交流・協力団体が実施する県民参加型の交流事業や学術研究機関の調査研究事業等を支援するため、対象経費の2分の1（上限100万円）を負担し、地域における国際化を推進する。

(2) ボランティア活用促進支援事業

通訳・翻訳、ホームステイなどのボランティア登録をしていますが、「経験がない、慣れていない」などの理由で活動を躊躇されるケースが多い。このような実状をふまえて、ボランティア活動の実践につながるスキルアップ講座を開催する。通訳講座では、通訳者として必要な知識やスキルの向上のためのワークショップ形式の講座を開催する。また、在住外国人に講座に参加していただいたり、実際の交流の中で学んだ知識を実践してもらおうエクスカージョンを実施する。ホームステイ受入講座では、受入の際の注意点

やマナーなどについて経験や事例に基づいて学ぶ。

(3) チャットサロンの開催

在住外国人をゲストに招いて、県民が外国語で気軽におしゃべりをする「チャットサロン」を定期的に開催する。(月1回程度)

(4) 国際交流・協力団体連絡会議の開催

県内に拠点をおく国際交流・協力団体が連携して活動していくため、連絡調整、情報交換のための会議を開催する。

(5) 地域国際化協会ブロック会議への参加

中・四国地方の地域国際化協会、財団法人自治体国際化協会が一堂に会し、それぞれの抱える問題点などについて意見交換するとともに、今後の課題について協議を行う。

4 国際化推進事業

(1) ワールドアラカートの開催

鳥取空港「空の日」のイベント(9月20日前後)にあわせて、民族芸能等のパフォーマンスやクイズなど国際色あふれる体験の場や異文化交流の場を提供する。

(2) 親子国際理解教室

小学生を対象に、参加しやすい夏休みに普段接することの少ない外国人講師を招いた体験的異文化理解講座を開催する。また、親子での参加を可能にし、家族ぐるみで異文化にふれ幼い時から異文化理解への意識を高める。

5 海外移住・海外技術協力事業

(1) 海外技術研修員等の受入

県から委託を受けて、県内で技術研修を行う研修員等の受入を実施する。

＜ブラジル交流促進事業海外技術研修員及び県費留学生＞ 2名(ブラジル)

＜鳥取県海外協力推進事業海外技術研修員＞ 1名(モンゴル)

＜自治体職員協力交流研修員＞ 1名(中国)

(2) 海外県人会への助成

ブラジル鳥取県人会、南加鳥取クラブ、サンフランシスコ鳥取県人会に対して会員間の交流を密にし、福祉の向上を図るための活動費助成を行う。

6 在住外国人支援事業

(1) 私費留学生奨学金支給制度の運営

県内高等教育機関に在籍する私費留学生に対し奨学金(月額2万円)を支給し、勉学生活を支援する。なお、受給留学生には「国際交流活動ボランティア」として、地域の国際交流活動に、積極的に参加していただく。

(2) 国際交流の夕べ(年6回程度)

在住外国人と県民が気軽に参加できる交流会を定期的を開催し、地域における国際化を推進する。18年度はあらたに西部地区でも開催する。

(3) 留学生オリエンテーションの開催（4月・10月）

来日間もない留学生を対象に4月と10月の入学時期にあわせて日常生活に関するオリエンテーションを鳥取大学・鳥取市国際交流プラザと連携して開催する。

(4) 日本語クラスの運営（東部3クラス・中部2クラス・西部2クラス）

在住外国人の日本語学習希望者の増加と学習レベルの多様性に対応するため、専任講師によるクラス形式の日本語教室を運営する。

(5) 日本語講師養成講座の開催

地域の日本語教育の中核となる人材育成や日本語ボランティアのスキルアップを目的とした研修講座を開催する。今年度は、県内の日本語ボランティアのネットワークづくりや意見交換のための研修会を中部地区で開催する。

(6) 在住外国人生活相談支援事業

在住外国人支援を充実させるため、既存の相談窓口（無料法律相談、在留資格相談、医療相談等）と連携し、母国語の話せるコーディネーター等を派遣することにより、在住外国人からの様々な生活上の相談に対応する。

(7) ボランティア登録制度の運営

通訳・翻訳、日本語教育、交流活動、ホームステイ・ビジット、ホストファミリーの登録及び活動の場の紹介を行う。

【山陰・夢みなと博覧会記念基金特別会計】

山陰・夢みなと博覧会記念基金により、県民参加型の国際交流活動等への助成事業と、自主事業として「とっとり国際塾」を実施する。

1 山陰・夢みなと博覧会記念基金助成事業

民間国際交流・協力団体が実施する比較的大規模な県民参加型の事業を支援するため、海外渡航費の3分の1（米子ソウル便利用の場合は2分の1）に他の助成対象経費の2分の1を加えた額を負担（下限100万円、上限は一般事業の場合300万円、青少年事業の場合500万円）する。

2 とっとり国際塾

鳥取県とゆかりのある国について、事前公開講座によりその歴史や文化を学ぶとともに、現地でのスタディーツアーを行い、その国の人々との交流を通して、民間交流の促進と県民の国際理解に対する意識啓発を図る。18年度は、本県との各種分野での交流の気運が高まりつつある台湾について「認識台湾（台湾を知ろう）」と題し、台湾の歴史や文化、日本との関わり、鳥取県との交流状況などについて学ぶ事前公開講座（2回）と、台湾での

スタディーツアーを行い、ホームステイや意見交換を通じて台湾に対する理解を深める。

【収益事業特別会計】

米子コンベンションセンター内のパスポートセンターを利用する県民の利便を図るため、米子事務所内において収入印紙及び県収入証紙の販売を行う。

財団法人 鳥取県国際交流財団
収 支 予 算 書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(一般会計)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
I 基本財産運用収入	9,608	9,589	19	
1 基本財産利息収入	9,608	9,589	19	
II 補助金等収入	71,869	74,633	△ 2,764	
1 県補助金収入	46,488	44,817	1,671	
2 県受託事業収入	25,381	29,666	△ 4,285	
その他補助金等収入	0	150	△ 150	
III 会費収入	320	320	0	
1 賛助会員会費収入	320	320	0	
IV 雑収入	10	10	0	
V 基本財産収入	1,000	1,000	0	
VI 特定預金取崩収入	469	1,696	△ 1,227	
1 退職給与引当預金取崩収入	469	1,696	△ 1,227	
入				
当期収入合計(A)	83,276	87,248	△ 3,972	
前期繰越収支差額	2,422	2,344	78	
収入合計(B)	85,698	89,592	△ 3,894	

財団法人 鳥取県国際交流財団
収 支 予 算 書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(山陰・夢みなと博覧会記念基金特別会計)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
I 基金運用収入	12,197	11,408	789	
1 基金利息収入	12,197	11,408	789	
II 雑収入	1	1	0	
1 受取利息	1	1	0	
貸付金償還収入	0	26,000	△ 26,000	
貸付金償還収入	0	26,000	△ 26,000	
収				
入				
当期収入合計(A)	12,198	37,409	△ 25,211	
前期繰越収支差額	23,274	28,544	△ 5,270	
収入合計(B)	35,472	65,953	△ 30,481	

科 目		予算額	前年度予算額	増 減	備 考
		千円	千円	千円	
	I 事業費	7,264	28,896	△ 21,632	
	1 とっとり国際塾事業費	3,946	5,008	△ 1,062	
	2 国際交流助成事業費	2,818	20,000	△ 17,182	
	3 事務局費	500	500	0	
	バーモント州交流事業 費	0	3,388	△ 3,388	
	II 予備費	10,000	0	10,000	
	III 特定預金支出	18,208	37,057	△ 18,849	
支	1 基金積立預金支出	18,208	37,057	△ 18,849	
出					
	当期支出合計(C)	35,472	65,953	△ 30,481	
	当期収支差額(A) - (C)	△ 23,274	△ 28,544	5,270	
	次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	0	

財団法人 鳥取県国際交流財団
収 支 予 算 書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(収益事業特別会計)

	科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
収 入		千円	千円	千円	
	I 事業収入	62,962	68,188	△ 5,226	
	1 印紙等売りさばき収入	61,792	66,962	△ 5,170	
	2 印紙等売りさばき手数料収入	1,170	1,226	△ 56	
	II 雑収入	1	2	△ 1	
	1 受取利息	1	2	△ 1	
	当期収入合計(A)	62,963	68,190	△ 5,227	
	前期繰越収支差額	808	275	533	
	収入合計(B)	63,771	68,465	△ 4,694	

